

一般会計歳入



消費生活センター

- 固定資産税について
- 個人市民税・法人市民税について
- 地方交付税について
- 公営住宅使用料の滞納について
- 実質収支比率の状況について
- 財政調整基金について
- 財政力指数について
- 給食費の滞納について
- 道路公共物占用料の収入未済額等について
- 児童福祉費補助金の収入未済額について
- 土地売却収入について

一般会計反対討論

合併後六年目の決算は、前年度対比、歳入で〇・一八％、歳出ではともに一・七八％という減額決算になりました。性質別歳出をみると投資的経費が二六・〇二％、額にして九億二千九百九十九万九千九百九十九円も減となったように、市民要望、財政需要の把握が充分でなく、住民の願いに答えきれなかった決算となっております。その上、不用額が十五億四千八百二十二万九千九百九十九円余と、多額となったために、実質収支比率が十二・一％と、きわめて高くなりました。もっと市民要望の実現に力を入れるべきです。個人市民税の微増と法人市民税の大きな回復があるものの、市税全体の収入未済額の累積は深刻で膨大になっていきます。地域づくり団体との無理な裁判に結果が出て、賠償金を払っています。議員年金共済会への掛金納付をめぐり市民から批判が出されました。

一般会計賛成討論

市の将来像に掲げた「豊かな自然と歴史に包まれてひとが輝く、やすらぎのまち」の実現に向けて、編成・執行された平成二十三年度安中市一般会計の決算は、実質収支額が、十七億四千四百九十九万九千九百九十九円となり、黒字決算となりました。これは、市税及び地方交付税などの増収であり、ますが、効率的な財政運営と徹底した経費節減に努めた結果と高く評価できます。主要な事業としては、市民福祉の維持増進に重点を置いた、障害者福祉対策としての二十四時間生活サポートセンター新築事業、保健衛生事業としての任意予防接種公費助成事業、継続の義務教育施設や橋りょうの耐震関係事業は、市民の安全安心に配慮した事業実施です。しかし、継続となる耐震補強事業に伴う市債残高の増加等課題も多く、より効率的な財政運営が求められます。

一般会計賛成討論

東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故は、多大な犠牲と被害をもたらした。日本経済に深刻な影響を及ぼしました。安中市の一般会計決算総額は、二百四十四億一千六百八十四万六千九百九十九円です。実質収支額十七億四千四百九十九万九千九百九十九円となり、黒字決算となりました。事業内容は、安全な市民生活の確保、福祉の充実や観光振興等に限られた財源の中で適切に対応した結果と一定の評価ができます。経常収支比率は八六・八％であり、弾力性を失いつつあると考えられます。公債費の増加は厳しい財政状況を示しており、自主財源の市税での滞納額縮小に更なる努力を要望します。少子・高齢化対策、いじめ・不登校対策、観光振興、雇用対策等の充実推進を図り、市民が安心して暮らせる環境づくり、若者が定着するまちづくりを要望します。

平成23年度 特別会計及び事業会計決算

(単位：円)

会 計 名	歳入 決算額	歳出 決算額
安中市国民健康保険特別会計	6,893,716,422	6,876,210,659
安中市後期高齢者医療特別会計	592,708,126	590,087,787
安中市介護保険特別会計	4,669,903,287	4,625,816,869
安中市下水道事業特別会計	849,880,116	844,010,028
安中市健康増進施設恵みの湯事業特別会計	185,830,633	182,954,382
安中市水道事業会計	収益的	1,373,627,307
	資本的	428,066,199
安中市病院事業会計	収益的	2,396,120,676
	資本的	658,130,438
安中市介護サービス事業会計	収益的	38,629,891
	資本的	0